

光文の **かんたん!充実!学習成績診断ソフト**
New ひまわり先生 2011

「LAN 機能と設定」

機能&手順マニュアル

<【正式版】 0418>



学ぶことが好きになる。

光文書院

ひまわり先生の校内研修・説明会のお問い合わせ先

ひまわり先生 サポートチーム
TEL 03-3262-3270

ひまわり先生の内容のお問い合わせ先

ひまわり先生 サポートデスク
TEL 03-3262-3258 (月~金 9:00~17:00)
e-mail himawari@kobun.co.jp

1. LAN を始める前の準備（システム管理者の作業）

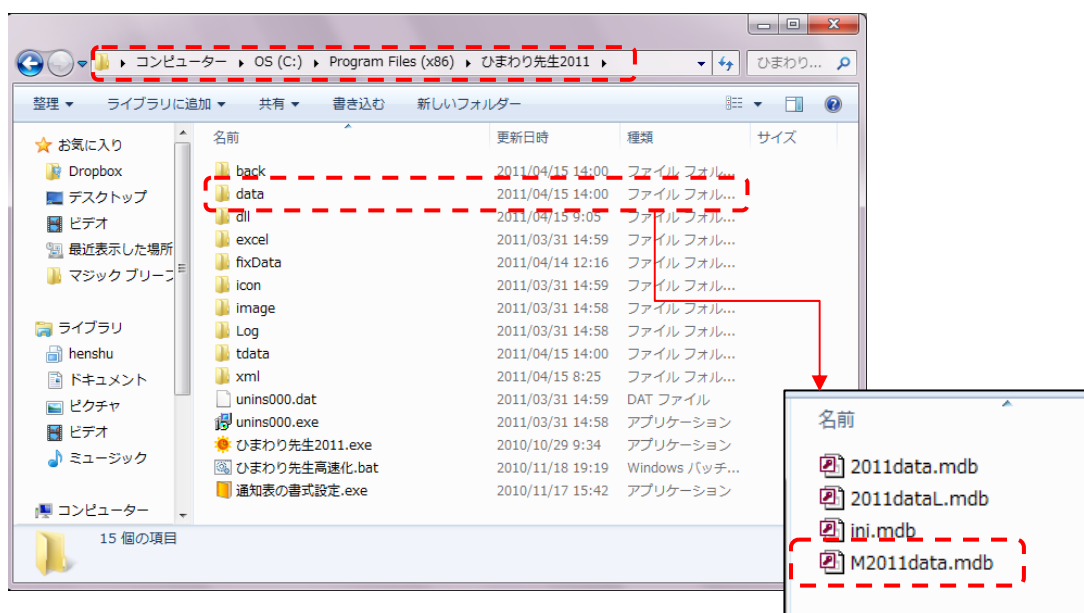
◎LAN(サーバ)によって成績データを共有するには、サーバ内の設定と各パソコンにインストールされたひまわり先生の設定が必要です。

はじめにサーバ内の設定を行いますが、この設定は、学校のシステム管理者またはネットワーク設定に詳しい方が行ってください。

【サーバ内の設定】

①ひまわり先生がインストールされたパソコンを一台用意します。

②パソコンにインストールされている「ひまわり先生 2011」フォルダ内の「data」フォルダの中に「M2011data.mdb」というファイルがあるので、このファイルをコピーします。



(※)「ひまわり先生2011」フォルダは、デスクトップにあるひまわりアイコンを右クリックしてプロパティを表示し、[リンク先を探す]または[ファイルの場所を開く] ボタンを探すことができます。

通常、WindowsXP,Vistaの場合は C:\Program Files\ひまわり先生2011

Windows7の場合は C:\Program Files (x86)\ひまわり先生2011 にあります。

③サーバ内に共有フォルダを作成し、その中にコピーした「M2011data.mdb」ファイルを貼り付けて配置します。

(例)「成績処理 2011」フォルダを作成し、その中に「M2011data.mdb」ファイルを配置。

④以上、サーバ内の設定は完了です。なお共有フォルダのアクセス権はフルコントロールにしてください。

「M2011data.mdb」ファイルは「ひまわり ROM」にも同梱しています。

ひまわり先生がインストールされたパソコンが設定時にない場合は「ひまわり ROM」(どの学年でも可)を開いて、「himawari_LAN」フォルダ内にある「M2011data.mdb」ファイルコピーしてお使いください。

2. 各パソコンの設定（学級担任の作業）

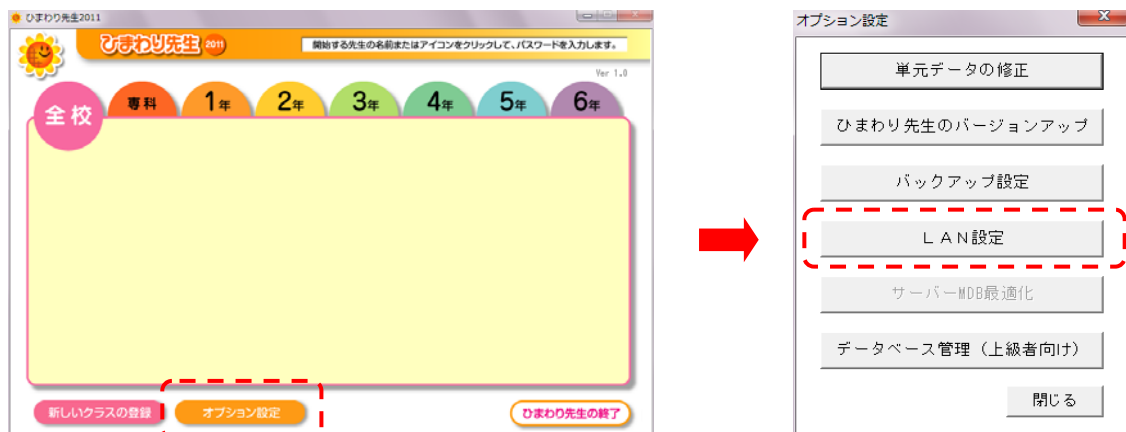
◎LAN(サーバ)内の設定が完了したら、次に学級担任が使用している各パソコンでの設定を行います。次の(A)(B)の場合によって手順が異なりますので、それぞれの状況に合わせて設定を行ってください。

- (A) LAN 設定時、まだひまわり先生にクラスの登録をしていない
- (B) LAN 設定時、すでにひまわり先生にクラスを登録している

(A)「LAN 設定時、まだひまわり先生にクラスの登録をしていない」場合の手順

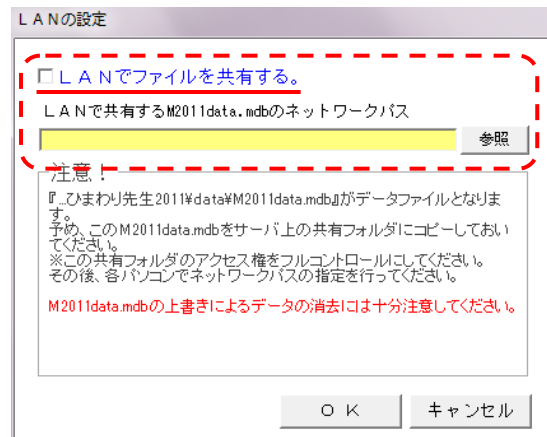
【手 順】

- ①ひまわり先生をパソコンにインストールします。(インストール済みの場合は起動)
- ②「先生の登録」画面が起動するので、「キャンセル」をクリックします。
- ③「ログイン」画面が起動するので [オプション設定] をクリックし、[LAN 設定] を選択します。



- ④「LAN 設定」画面が表示されます。
“LAN でファイルを共有する。” にチェックを入れます。[参照]でサーバ内の共有フォルダ内に配置された「M2011data.mdb」を選択し、[OK]をクリックして、「オプション設定」画面を閉じます。

(※)全ての先生が同じ共有ファイルにアクセスする必要がありますので、事前にサーバ内の共有ファイルがある場所をご確認ください。



⑤ひまわり先生の再起動を求めるメッセージが表示されるので、[OK] をおすとひまわり先生が終了します。再度、ひまわり先生を起動してください。

⑥再起動後、②と同じように自動的に「先生の登録」画面が起動するので、自分のクラスを登録します。以降、ひまわり先生に登録したクラスに入力するデータはサーバの共有フォルダに逐次保存され、パソコンにはデータは保存されません。

(B) 「LAN 設定時、すでにひまわり先生にクラスの登録をしている」場合の手順

⑦すでにクラスを登録して得点などを入力している場合は、はじめに現在登録しているクラスデータを別途保存（クラスデータ【書き出し】（保存））して、LAN 設定後に再登録する必要があります。ここではその手順をご紹介します。

【手 順】

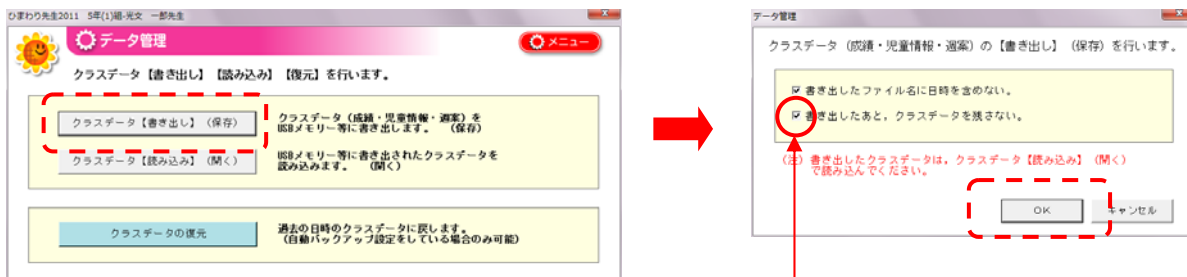
①ひまわり先生を起動します。（例）すでに“5年(1)組光文 一郎先生”で登録済み

②自分のクラスにログインし、メインメニューの「データ管理」をクリックします。



③「データ管理」画面の[クラスデータ【書き出し】（保存）]をクリックして、これまで入力しているクラスデータを一旦デスクトップ等に保存します。

（ファイル名の例）H23_5年(1)組光文 一郎先生.mdb



LAN 設定後にパソコンにデータを残さないようにする場合はチェックを入れます。

④ひまわり先生が自動的に終了するので、ひまわり先生を再起動して「ログイン」画面を起動します。（③で“パソコンにデータを残さない”にチェックを入れない場合は自動終了しないので、ログアウトしてください。）

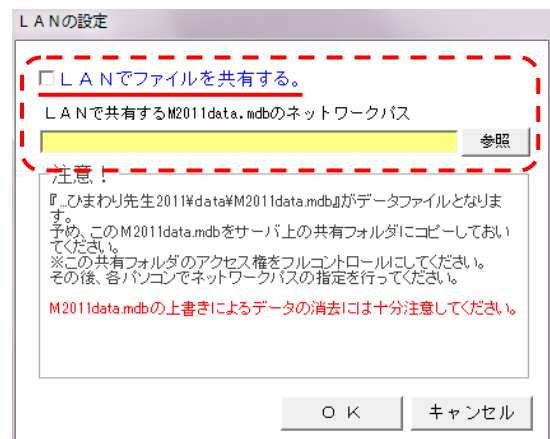
⑤「ログイン」画面の「オプション設定」をクリックし、開いた画面で「LAN設定」を選択します。



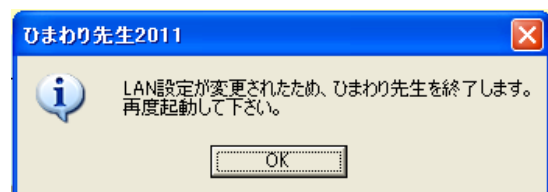
⑥「LAN設定」画面が表示されます。

“LAN でファイルを共有する。”にチェックを入れます。[参照]でサーバ内の共有フォルダ内に配置された「M2011data.mdb」を選択し、[OK]をクリックして、「オプション設定」画面を閉じます。

(※)全ての先生が同じ共有ファイルにアクセスする必要がありますので、事前にサーバ内の共有ファイルがある場所をご確認ください。



⑦ひまわり先生の再起動を求めるメッセージが表示されるので、[OK] をクリックするとひまわり先生が終了します。再度、ひまわり先生を起動してください。



⑧再起動後、自動的に「先生の登録」画面が起動するので、自分のクラスを再登録します。

(自動的に「先生の登録」画面が起動しない場合は、ひまわり先生を起動してログイン画面の「新しいクラスの登録」をクリックします。「先生の登録」画面が起動するので、自分のクラスを再登録します。) ※再登録の方法については次ページの「ワンポイント！クラスの再登録の方法と手順」参照

⑨以降、ひまわり先生に登録したクラスに入力するデータはサーバの共有フォルダに逐次保存され、パソコンにはデータは保存されません。

ワンポイント！ クラスの再登録の方法と手順

- 1) 「先生の登録」で、書き出す前の先生のお名前を一字一句同じに入力します。姓と名の間にスペースを入れている場合はそれらも同じにしてください。またパスワードを設定している場合はパスワードも同じに設定します。（「秘密の質問」は書き出したクラスデータのものに上書きされるので、適当に入力してください。）
- 2) 「新しいクラスの登録」で、学年、組についても全て書き出す前と同じに登録します。
- 3) 「児童の登録」では児童名の入力はありません。右上の[メニュー]をクリックして、メインメニュー画面に移動します。
- 4) メインメニュー画面で「データ管理」をクリックします。
- 5) 「データ管理」画面の[クラスデータ【読み込み】（開く）]をクリックして、一旦デスクトップ等に保存したクラスデータファイルを選択します。
- 6) データの読み込みが終了すると、クラスの再登録は完了です。

3. LAN 設定の完了

◎LAN 設定が完了すると、ログイン画面とメインメニュー画面が次のように表示されます。

【ログイン画面】

- ・タイトルバーに“LANモード”の文字が表示されます。

【メインメニュー画面】

- ・タイトルバーに“LANモード”の文字が表示されます。
- ・[データのアップロード]ボタンが追加されます。

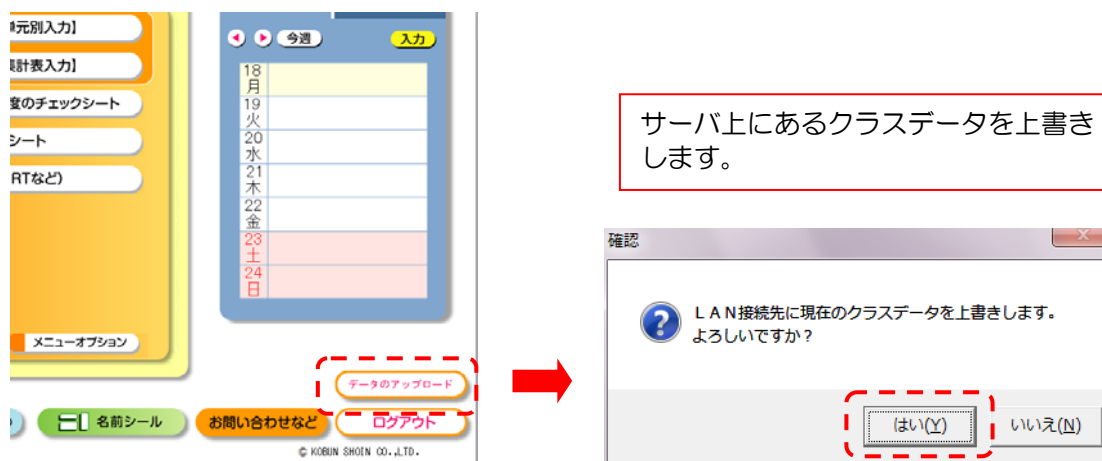
4. LAN 設定時の追加機能

◎LAN 設定が完了すると、各パソコンのログイン画面、メインメニュー画面のタイトルバー上に“LAN モード”の文字が表示されます。同時に【データのアップロード機能】と【サーバーMDB の最適化】機能が追加されます。

【データのアップロード機能】

ひまわり先生では、通常、LAN 設定をしていない場合は、メニュー画面に移動するタイミングで自動的にデータの保存をおこなっています。

それに対して LAN 設定時にはログアウトのタイミングにサーバへ自動的にデータ保存を行っています。ただし、ログアウト時以外にも随時保存をしたい場合には、メニュー画面にある[データのアップロード]をクリックすることにより、任意にデータをアップロードすることができます。



【サーバーMDB の最適化（データベースの最適化）】

サーバの共有フォルダに置かれたデータベースファイルは、データの追加や削除が常に行われています。その結果、必要なデータとともに無駄なデータもどんどん増えて、データへのアクセスや処理速度等に支障をきたすようになります。

そのように肥大化したデータベースの無駄を取ってスリムにして、パフォーマンスを向上します。

【手順】

- ①ログイン画面の[オプション設定]を開いて、[サーバーMDB の最適化]をクリックします。
- ②確認のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

【注意】

- ・ひまわり先生の使用頻度によりませんが、1～2か月に1度程度、システム管理者が行ってください。
- ・別のパソコンでひまわり先生を使用中には絶対に処理を行わないでください。

5. LAN 機能についての注意事項

【LAN 機能の利用の際に注意していただくこと】

- (1) LAN ケーブルを使用する環境の場合は、必ず LAN ケーブルにつないでからひまわり先生を起動してください。(クラスデータが読み込まれません。)
- (2) LAN のパソコンとローカルのパソコンを使用する場合、必ず「データ管理」でクラスデータの書き出し・読み込みを行ってください。

＜例：学校(LAN)と自宅(ローカル)の2台のパソコンでひまわり先生を利用する場合＞

①学校のパソコン：「クラスデータ【書き出し】(保存)」で、USB メモリにデータを書き出して終了します。

↓

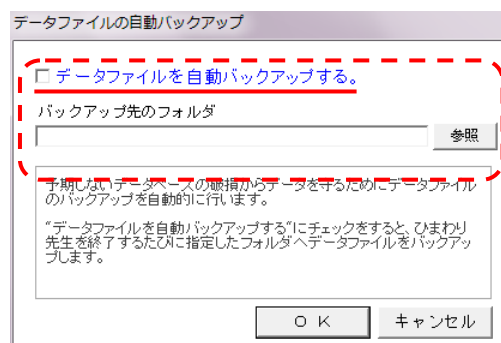
②自宅のパソコン：ひまわり先生を起動して、「クラスデータ【読み込み】(開く)」で、USB メモリに入れて持ち帰ったデータを読み込みます。作業終了後、「クラスデータ【書き出し】(保存)」で、USB メモリにデータを書き出して終了します。
(学校のパソコンで作業をする場合は、同様に USB メモリからデータを読み込みます。)

- (3) 各パソコンの「バックアップ設定」の保存先をサーバ内の共有フォルダに設定することをお勧めします。
 - ・ひまわり先生の初期設定ではバックアップファイルの保存先がパソコンの“C:\Program Files\ひまわり先生 2011\Back” に設定されています。この保存先をサーバ内の共有フォルダにすることで、バックアップデータを含め全てのデータがサーバで管理されることになり、パソコンの破損等の事故に対してもさらに安全性が高まります。

【設定の手順】

①ログイン画面の[オプション設定]の[バックアップ設定]を起動します。

- ②予めサーバ内に共有フォルダを作成し、
[参照]で選択します。
(例：クラスデータの共有フォルダを「成績管理 2011」、バックアップ用フォルダを「バックアップ 2011」等に設定します。)



- ③上記①②の設定を各パソコンで行います。
これによりクラスデータ同様、登録しているクラスのバックアップデータについてもサーバ内で安全に管理されます。